

アイコイル超発電+2

渡辺 満（静岡県）

●注意

すでに述べたように、強力なパルス電流を、
コイルに入力すると、電流の流れる方向に、アイ起電力が発生する。
ここで、注意点として・・・、
コイルの巻き線に、例えば、皮膜の薄いポリウレタン線などを使うと、
このアイ起電力によって、巻き線間に放電が起きてしまい（絶縁破壊）、
コイルが短絡する場合があります。

普通では、なかなか、この短絡に気がつかないが、
僕は、幸い、あるコイルの実験中に、
外から巻き線間に、火花放電の走るのが見えた、からである。

コイル 0(0c)と、アイコイルに、この注意が必要である。

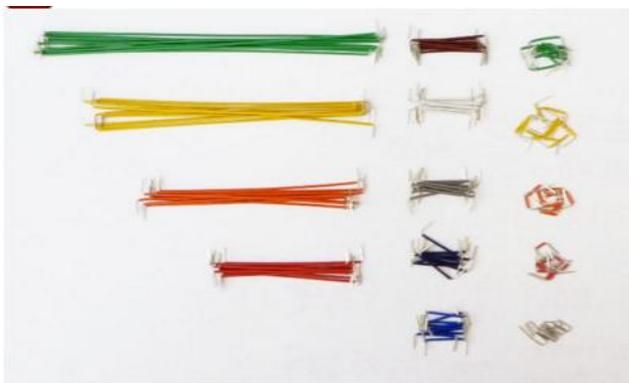
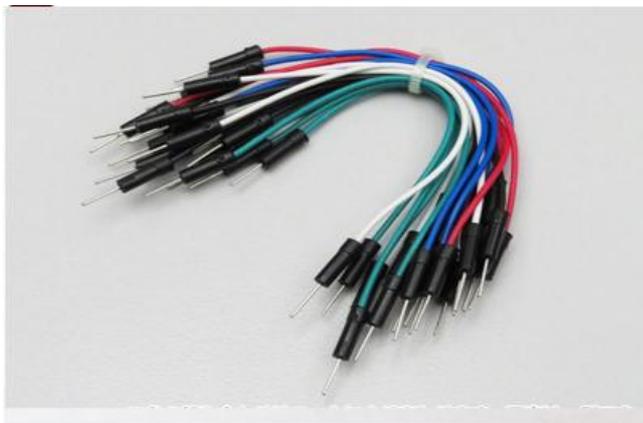
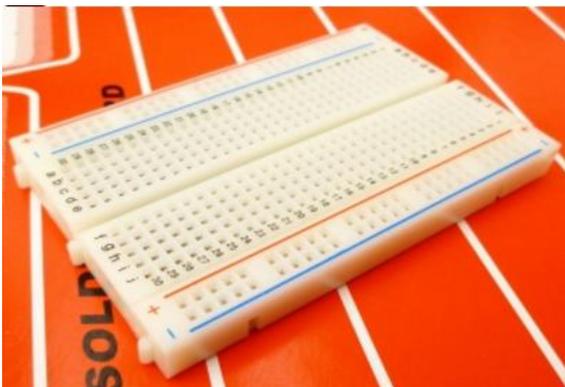
「アイコイル発生気」の開発中には、これが普通に起きた。
そこで、巻き線を皮膜の厚い線に替えてみた。
すると、今度は一方で、巻き線の束が大きくなって、
E1-60 コアでは、間に合わなり、そこで仕方がないので、
E1-60 コアを 2 階建てにした。

装置の電源電圧を上げる場合には、この対策が絶対に必要になる。
この短絡は、逆に、アイ起電力存在の強い証拠となるだろう。

●ブレッドボードが便利

とりあえず、6V モデルを簡単に作るには、秋月電子などで出している、
ブレッドボードなどを使うのが、便利だ。

- ・ブレッドボード
- ・ブレッドボード・ジャンパーワイヤ(オスーオス)セット
- ・ブレッドボード・ジャンパーワイヤ



部品は、次の店からも購入している。
… 千石電商、共立エレショップ、

2019年11月発行

著者:渡辺 満, 発行者:渡辺 満

Copyright 渡辺 満 2019年